

岐阜県厚生農業協同組合連合会飛騨医療センター 久美愛厚生病院

病院の概要

開設時期：昭和14年10月2日
開設者：岐阜県厚生農業協同組合連合会
院長名：山本 昌幸
病床数：300床（一般：182床、療養57床、感染4床、結核8床、地域包括ケア49床）
標榜科：内科、循環器内科、心療内科、精神科、小児科、外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、皮膚科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科
医師数：35名
指導医師数：17名
外来患者数：406名／日※
入院患者数：200名／日※
所在地：岐阜県高山市中切町1-1
URL：https://www.kumiai.gifkosei.or.jp/
※令和7年度実績



病院の特徴

当院は病床数300床の救急告示病院です。急性期病床の他、緩和ケア病床、地域包括ケア病床、療養病床、感染病床・結核病床を備えており、健診センター、医療介護センターを併設しています。広大な飛騨医療圏で二次救急医療を担っているため、あらゆる急性期疾患に対応する地域の中核病院としての役割が求められます。手術やがん治療といった高度医療に加え、慢性疾患の管理も行います。また、高齢者が多い地域のため、在宅医療へのスムーズな移行を目指した地域包括ケアシステムとしての役割もあり、訪問看護・訪問リハビリ事業も行っています。飛騨地区住民の健康が保たれるように、スタッフ一同全力を尽くしています。

院長メッセージ



山本昌幸
(脳神経外科)

当院は地方にある中規模病院です。中部縦貫自動車道・高山インターに近いため各方面からのアクセスも良く、また病棟から真正面に乗鞍岳の雄姿を望めることが何よりの特徴です。常勤医師数は少なく初期研修医も少数ですが、研修医が少ないことをメリットに変え、大規模病院とは違った取り組みをしています。「地域包括ケアから海外医療まで。実践こそが、研修でしょ？見ていただけなんてありえない。」をモットーに、少数精鋭だからやりたいことを徹底的にやれ、臨床能力が早く・確実に身につく研修を行っています。指導医はほとんどがローテート研修経験者です。研修医一人ひとりの特徴、志向、手技や知識の達成度をきめ細かく把握した上で丁寧に指導します。また積極的に診察、検査、手術に呼び、手技はマンツーマンで教えます。北アルプスに抱かれながら、有意義な研修を受けてみてはいかがでしょうか？

指導医メッセージ



村田欣洋 (循環器内科第二部長・臨床工学科部長兼栄養科部長)

初期研修では、医師としての診療姿勢の基礎を形成する時期であり、患者やその家族と全人的に向き合い、院内スタッフや地域とも協力し合い最高の医療を提供できるようになることを目的とします。当院では、救急疾患から慢性期や緩和ケアまで一貫したプライマリケアを研修できます。地域包括ケアについても積極的に参加して地域にとってなくてはならない医師になっていただきたいと思っています。研修病院としての歴史は長く、研修医定員は少数のためベテランの上級医のマンツーマンの指導を十分に受けることができます。また、2年次はその後のキャリア形成に移行できるように選択可能期間を長くとしています。地域医療に関心のある方、自然豊かな観光地高山で研修したい方、やさしいスタッフや患者さんと研修をしたい方、ぜひ見学に来てください。

研修医メッセージ

当院の初期研修では研修医の人数が少ないため、指導医の先生方からマンツーマンで手厚い指導を受けることができます。都会の研修医が多い病院では症例や手技の取り合いがあるという話を伺いますが、当院ではそのようなことはなく積極的になればなるほど様々な手技を数多く経験できます。また、興味深い症例や練習したい手技があれば、違う科をローテート中でも呼んでいただけるのは当院ならではのメリットだと思います。当院は二次救急病院で、日当直業務は上級医1名と研修医1名がセットになって行います。基本的にファーストタッチは研修医が行いますが、検査や治療の方針を上級医の先生と相談して決めることができるため、安心して研修することができます。三次救急を経験したいとの希望があれば、大垣市民病院等で研修を行うことも可能です。高山という土地柄故か、患者さんや病院スタッフの皆さんも優しい方が多く、良い雰囲気ですストレスなく研修することができます。また、高山は食べ物美味しく観光スポットも多いため、休日に退屈することはありません。交通費や宿泊費の補助もありますので、興味のある方は是非見学にお越しください。

研修再開を希望される皆さんへ

当病院では、中途再開者の皆さんへ広く門戸を開いています。研修再開を希望される方は、当院へお問い合わせください。

研修スケジュール

1年次	内科（26週）					外科（13週）		救急(13週) 脳外科・整形外科・麻酔科（各4週）
2年次	地域医療 （6週）	小児科 （4週）	産婦人科 （4週）	精神科 （4週）	保健・医療行政 （2週）	泌尿器科・皮膚科・眼科 耳鼻咽喉科(各2週)	在宅医療 （1週）	自由選択（23週）

研修協力病院・施設

高山赤十字病院 公立東濃中部医療センター 西美濃厚生病院 ひだ在宅クリニック 高根地域診療所 宮川診療所	名古屋大学医学部附属病院 中濃厚生病院 須田病院 アルプスベルクリニック 清見診療所	富山大学附属病院 岐阜北厚生病院 岐阜ハートセンター 久々野拠点診療所 荘川診療所	大垣市民病院 西濃厚生病院 飛騨保健所 朝日地域診療所 河合診療所
---	--	---	---

研修プログラムの目標

医師が医師としての人格を涵養し、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる疾病に、適切に対応できる診察能力を身につけることを第一の研修目標とします。

研修プログラムの特徴

- 1、基本知識・技能の修得
内科研修に十分な時間をかけ、病歴聴取、身体観察、鑑別診断、臨床推論などの知識・技術・思考過程と、感染症診療、栄養管理、水分管理などの基本原則といった将来どの診療科に進むとしても必要となる基本を身につけます。
- 2、救急への対応
救急外来、手術室での麻酔管理研修を通じて、気道確保・気管内挿管の手技や循環動態・病態生理の理解をし、救急や急変時に頼りにされる医師を育てます。
- 3、患者中心の医療の理解と実践
主治医として診療を担当し、指導医とともに真摯に患者と向き合える人間としての総合力を築きます。また、当院では診療科の垣根が低く科をまたいだ診療に参加でき、あるいは多職種連携も取れており、患者に全人的に関わることができます。
- 4、地域医療の理解と実践
高山市は都市部とは隔離された土地で東京都と同じ面積に約8万人が生活し、当院は中核病院として急性期から慢性期、緩和ケアに渡る幅広い医療を実践し、住民の健康管理にも力を入れています。地域における医療の役割を理解することを目指します。また、保健所研修を通じて地域での医療行政を学びます。

募集要項

応募資格：令和10年3月に医師免許を取得する見込みである者
医師免許取得者で初期臨床研修を修了していない者
募集人員：3名（予定）
身分：嘱託常勤職員
給与：与：〈モデル給与〉
1年次：年収 約820万円、月給：約60万円
2年次：年収 約870万円、月給：約63万円
※モデル給与の補足：研修医手当、ベースアップ評価料対象手当、住居手当、時間外手当含む（当直：4回、日直：1回）
住居等：医師住宅あり・賃貸住宅居住者には家賃補助あり
保険等：各種保険制度あり

連絡先

久美愛厚生病院 企画総務課
TEL：0577-32-1115
FAX：0577-34-7115
E-mail：soumu-3@kumiai.gifkosei.or.jp

交通案内



JR 高山駅より車で15分